令和７年度決算審査

市議会が市の決算をチェック！



令和７年度の決算議案が９月定例会に提出され、「歳入歳出決算書」や「主要な施策の成果を説明する書類」などの資料を基に、慎重に審査を行い賛成多数で認定しました。

常任委員会への付託

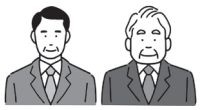
決算議案は４つの常任委員会において、それぞれの所管する事務について審査されます。各委員会の審査内容については、８、９頁をご覧ください。

決算審査の流れ



会計管理者が作成

決算書類
- 歳入歳出決算書
- 歳入歳出決算事項別明細書
- 実質収支に関する調書
- 財産に関する調書



監査委員が作成

歳入歳出決算審査意見書



市長が作成

主要な施策の成果を説明する書類

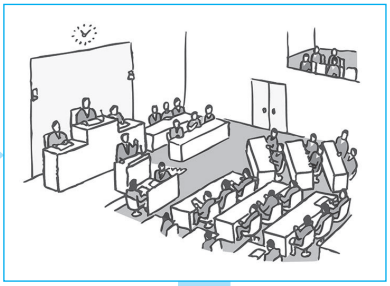
市長



提　出

市長が定例会に決算議案を提出し、説明

議会（本会議）



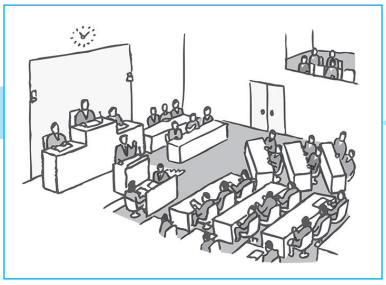
付託

４つの常任委員会で慎重に審査

総　　務	福祉生活
教育環境	産業建設

報　告

議会（本会議）



採　決

認　定

不認定

議会が決算を不認定とすることもできます。不認定でも決算の効力に影響を及ぼすものではありませんが、市長は政治的責任を負うことになります。（地方自治法第 233 条第７項）※2

※２　地方自治法第 233 条第 7 項…普通地方公共団体の長は、決算の認定に関する議案が否決された場合において、当該議決を踏まえて必要と認める措置を講じたときは、速やかに、当該措置の内容を議会に報告するとともに、これを公表しなければならない。

決算審査報告



総務委員会

定住促進事業

〔質問〕**現在の移住・定住施策では、受け身の待つ姿勢の印象があり、このままであれば、佐賀市への移住者数は伸びず、推移は変わらないと思えるが、どう考えているのか。**

〔答弁〕支援金だけを呼び水にして、移住を促進するのは難しい面があると捉えており、既に佐賀市に移住されている方に、何が必要なのか移住者目線の意見をきくワークショップ等を行った。移住者が移住者を呼び込む流れを目指し、支援金以外で移住者を呼び込めるような施策を考えている。

〔質問〕**移住希望者が起業したい場合の相談窓口はどこなのか。**

〔答弁〕移住とあわせて起業したいという相談があれば、まずは企画政策課で相談を受け、起業支援については経済部へ引き継ぐ形となる。佐賀市への移住について分かりやすく伝えるポータルサイトを作成し、その中に他部署の支援策なども入れながら、対応していきたい。

〔意見〕**定住促進は、プロジェクトチームをつくるなど本気で取り組むべきだと思う。佐賀市を知らない人でも、「起業をしたい」、「地域性や風土がよい」と思えるような、伴走型の相談窓口が必要ではないか。**

〔審査結果〕全ての議案について、認定すべきものと決定。



佐賀市を知らない人でも、
地域性や風土がよいと思えるように！

福祉生活委員会

富士大和温泉病院事業会計決算

〔質問〕**受診者数を増加させるためにしていることは何か。**

〔答弁〕健康講話などを通じて、病院の認知を広めている。また、新たな取り組みとして、例えば、睡眠時無呼吸症候群の可能性のある方などを抽出し、人間ドックなどの健診受診者の増加に繋げたいと考えている。

〔質問〕**令和7年度の決算では3億円ほどの赤字が出ている。赤字という結果だけで考えてはいけないと十分理解しているが、今後の経営方針をどのように考えているのか。**

〔答弁〕現在、一般病床を20床減らし、地域包括ケア病床を10床から30床へ増やす取り組みを検討している。当院の一般病床は、在院日数が24日以内となっている一方で、地域包括ケア病床は、60日以内となっており、一般病床よりも在院日数を長く確保でき、十分な診療を提供できることから、より健康な状態に回復してから退院していただくことができると考えている。在院日数が長くなることで、これまでより病床が埋まっている状態が続きやすいと考えており、病院としても収入が増加するため、患者にも病院にもメリットが生じるよう地域包括ケア病床を活用し、病床稼働率を上げることを第一の目標として取り組んでいきたい。

〔審査結果〕全ての議案について、認定すべきものと決定。



富士大和温泉病院



令和７年度

教育環境委員会

二十歳のつどい開催経費

〔質問〕ＳＡＧＡアリーナ会場内の動線は、どのようにして決定したのか。

〔答弁〕会場内の動線は、事業の受託者と協議して決定した。ＳＡＧＡアリーナでイベントを開催する際のスタンダードな使い方であった２階を入場口とした。式典前の時間を使って「お久しぶりタイム」という企画を１階のアリーナフロアで計画したが、振り袖で階段を降りるのは怖いため、アリーナフロアに降りていくことができず、アリーナの広さを存分に生かすことができなかったという課題が残った。今年度は１階を入場口とし、アリーナフロアで交流をしていただき、式が始まる直前に、観覧席に上がっていただく流れで、現在計画中である。



令和７年度佐賀市シン・二十歳のつどいの様子

グリーン産業推進経費

〔質問〕藻類の研究等に継続して経費が支出されているものの、藻類の情報を最近聞かないが、令和７年度の成果は。

〔答弁〕佐賀大学との連携事業で、微細藻類を商品化するまでの一連のプロジェクトに各学部の教授の方々が携わり研究していただいている。令和７年度は、微細藻類から人体の血圧上昇を抑制する効果がある新たな化学物質が発見された。現在は、それを特許化するための様々な審査への対応や商品化するための研究開発が続けられている。その他にも医療分野において、一般社団法人バイオサーキュラーエコノミー協議会を通じて支援をしているものとして、微細藻類から抽出した血清の代替物に関する研究を継続して行っている。

〔審査結果〕全ての議案について、認定すべきものと決定。

産業建設委員会

土地改良施設適正化事業

〔質問〕資材費や人件費が高騰する中、事業費も増加しており、土地改良区の運営にも影響が生じていると考えられる。一方で、組合員の負担となる賦課金を引き上げることも難しい状況にある。こうした土地改良区の運営上の課題について、どのように現状を把握し、対応していく考えか。

〔答弁〕土地改良区の運営については、話を聞き実際にどのような状況にあるのか確認を行った。しかし、それから年数が経過しているため、改めて11の土地改良区の状況を聴取し、より詳しく現状を把握したいと考えている。土地改良区は、それぞれ要望や抱えている問題が異なっており、それらを取りまとめることが難しい面もある。このため、まず各土地改良区から聴取した内容を、土地改良区連絡協議会の事務局に相談したいと考えている。

水草除去事業

〔質問〕毎年度水草の除去を繰り返すのではなく、完全に除去する方法はないのか。

〔答弁〕日本でナガエツルノゲイトウを完全に撲滅することは難しく、これ以上繁茂しないよう、いかに抑制するかが重要となる。水路の路線ごとに上流から少しずつ除去していく方法について、水草除去のプロジェクトチームの会議の中で検討を進めていきたいと考えている。

〔審査結果〕全ての議案について、認定すべきものと決定。



繁茂の抑制が重要となるナガエツルノゲイトウ